

ごあいさつ

日頃より弊庫に対しまして格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、わが国の経済は、長期化する新型コロナウイルス感染症拡大の影響と2月24日に勃発したロシアのウクライナ軍事侵攻の長期化によって、部品や原材料の供給不足に加えて、資源・エネルギー価格などの物価上昇が打撃となり、生産や販売の縮小を余儀なくされるとともに、個人消費についても低調な状態が続いています。



このような中、政府は事業継続や国民生活の維持を目的として様々な経済・景気対策を講じるとともに、ウイズ・アフターコロナ社会に向けた動きを活性化しています。と同時に、罪もない多くの命と平穏な暮らしを奪ったロシアに対して、国際社会と連携した経済制裁やウクライナへの支援策を展開し、一日も早い戦争終結をはかるべく取り組んでいます。

一方、弊庫におきましては、昨年10月に創立20周年を迎えることができました。この20年間、北陸の地で福祉金融機関として歴史を紡いでこられたのは、ひとえに皆さまの変わらぬご支援とご協力によるものであり、ここに改めて心から感謝を申し上げます。

経営状況につきましては、長引くマイナス金利政策と新型コロナ感染禍の影響により、依然として貸出金利息の減少に歯止めがかからず、厳しい状態が続いています。しかしながら、2021年度はこれまで進めてきた「職員意識改革」、「営業推進改革」、「職場風土改革」が浸透してきたことにより、借換による可処分所得の向上や資産形成等の提案活動をはじめとした生活応援運動で大きな成果を上げることができました。

2022年度におきましても、この流れをさらに加速させ、より多くの会員やお客さまのお役に立てるよう、また喜んでいただけるよう会員の皆さまと協働して進めていきたいと考えています。また、今年度は第7期中期計画の仕上げの年となります。計画で掲げた3つの柱「①ろうきん理念の実現、②持続可能な経営基盤の構築、③信頼される人材育成と管理態勢の強化」については、より具体的な面で成長や進化が実感できるよう全役職員が心一つにして、努力を重ねていく所存です。

北陸労働金庫は、今後も勤労者のための福祉金融機関として使命を果たし、役割が発揮できるよう、全力をあげて取り組んでまいります。

皆さまには今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2022年 7月

理事長 山岸 克司

当金庫の概況

2022年3月末現在

名 称：北陸労働金庫
所 在 地：石川県金沢市芳斉2-15-18
設 立：1954年5月1日
(2001年10月1日合併し、北陸労働金庫発足)
店 舗 数：25店舗(富山県8、石川県10、福井県7)
常勤役員数：493人
団 体 会 員 数：1,774会員
間 接 構 成 員 数：394,687人
出 資 金：40億9百万円
預 金 残 高：8,100億86百万円
貸 出 金 残 高：4,650億69百万円

全国ろうきんの概況

2022年3月末現在

金 庫 数：13金庫
店 舗 数：606店舗
常勤役員数：11,330人
会 員 数：108,977会員
(うち団体会員数49,403会員)
間 接 構 成 員 数：11,804,193人
出 資 金：972億円
預 金 残 高：22兆6,238億円
貸 出 金 残 高：15兆190億円